

2月2日（月）

## 靈的な環境を整える

\*\*\*\*\*

### 今日の力

\*\*\*\*\*

2026年2月2日～2月8日

翻訳 相坂 純子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています  
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

聖書朗読 ルカの福音書 11:33～36

だれも、あかりをつけてから、それを穴倉や、柵の下に置く者はいません。燭台の上に置きます。入って来る人々に、その光が見えるためです。 ルカ 11:33

私たちはいつも無駄をなくし、汚染を減らし、自然を守るように促されています。環境に配慮するということは、現在のためだけでなく、地球の未来を確保することなのです。

私たちは有害な化学物質をまき散らしたり、微妙な生態系を乱すこと、毒性のある物質を使うことに対して注意するよう警告されています。これらの警告は、より重要なこと、すなわち、私たちがどのように生きるかが重要だということを示しています。

ルカ11章でイエス様は、いわば魂についての“環境整備”的必要性が示されています。『目が健全なら、あなたの全身も光に溢れます。目が悪いと、からだも暗闇の中にいる状態になってしまいます。』言い換えると、神様から頂いた光をよく用いなさい。自分の闇で世界を汚してはいけませんということです。つまり、私たちのうちにある害をもたらす欲望に負けてはいけないです。

私たちは孤立して生きているではありません。信仰とは自分自身だけのことではなく、公の証なのです。キリスト者は害を及ぼす全てを避け、暗い世界の中で明るく輝くようにと求められているのです。

イエス様は、全身が明るく輝く状態について語されました。これは、より高みを目指すという、神様を尊ぶ者の願いです。あなたの光を輝かせましょう。

讃美歌 276 ひかりとやみとの

祈り 親愛なる神様。私たちが世界の汚染をはっきり見分けられるように助けてください。あなたのために明るく誠実な人生を生きることができるように力をお与えください。イエス様の御名によって。アーメン。



オクラホマ州 エドモンド／ハロルド・シャンク

2月3日(火)

## 心の一新による変化

聖書朗読 ルカの福音書 13:18~21

この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえるために、心の一新によって自分を変えなさい。

ローマ 12:2

“卒業式”と聞くとあなたは何を思い浮かべますか。長時間座ることですか。長いお話ですか。退屈でしょうか。

私は貧しい人々を支援するNPO(非営利組織)でボランティアをしていた時、多くの卒業式に出席しました。生徒たちは職業訓練、カウンセリング、靈的に養われるクラス、インターンシップを含む13週間の課程を修了していました。

学期の初めに生徒たちは、自分にとって新しい生活とは何を意味するのか、新聞・雑誌の切り抜きや写真などを貼り付けたコラージュ作品で表しました。その多くには高価な家や車、輝くダイヤモンド、ブランド物の服の写真がありました。平和、知恵、幸福、信仰、神への感謝といった内面的なことが表現されることは殆どありませんでした。しかし、卒業時には変化が見られました。

それぞれの生徒が心から希望と靈的成长について語りました。クラスメイト、ボランティア、指導者たちから励まされたこと。そして、一番大切なことは、すべての成功と克服は神様によるものだと賛美しました。以前の物質的な欲望は神様のうちにある靈的な喜びと平安へと置き換えられたのです。

私は毎回感動を受けました。神様からもたらされる、心の一新による変化を目の当たりにして、私自身の信仰も一新されました。

讃美歌 234A 昔 主イエスの

祈り 天の父よ、私たち一人ひとりを贅ってください感謝いたします。私たちの人生があなたに向かうものとなりますようお助けください。私たちを、よりイエス様に似た者とし、完全に造り變えてください。イエス様の御名によって。アーメン

オクラホマ州 エドモンド / サリーJ・シャンク

2月4日(水)

## 神の見えないみわざ

聖書朗読 ルカの福音書 13:18~21

そこで、イエスはこう言われた。「神の国は、何に似ているでしょう。何に比べたらよいでしょう。・・・パン種のようなものです。 ルカ 13:18、21

パンは私にとって不思議なものです。基本、小麦と水とパン種ということは理解していますし、パン種が重要な材料だということも知っています。パン種がなければ生地はふくらみません。しかし、不思議なことはその過程にあります。私にはパン種が実際に何をしているのか見えません。材料を混ぜて、寝かせておくと、生地がふくらみます。その結果によって、見えなくてもパン種が働いていたことがわかります。

パンを作る工程はこの二千年ほどんど変わっていません。多分そういう訳でイエス様は神の国をパン種にたとえられたのでしょう。それは、私たちには見えない時でも神様が常に働いていてくださるということを思い起こさせてくれます。神様は私たちの人生の中で働いておられます。他の人たちの人生の中でも働いておられます。決して「見えないから起こっていない」と思ってはいけないです。

“パンについての教え”を学びましょう。神様は見えないところで力強く働いてくださっています。神様は関わってくださっていて、私たちに見えるよりも多くのことがいつも起こっているのです。

聖歌 295 成したまえなが旨

祈り 親愛なる主よ。私や私の周りの人々の人生の中で、あなたがしてくださっているみわざをほめたたえます。私があなたの見えない御手を信じ、信仰をもって待つことができるようにしてください。イエス様の御名によって。アーメン。

ワシントン州 バンクーバー / ブライアン・シモンズ



2月5日(木)

## 見つけた！

聖書朗読 ルカの福音書 15:1～10

また、女人人が銀貨を十枚持っていて、もしその一枚をなくしたら、あかりをつけ、家を掃いて、見つけるまで念入りに捜さないでしょうか。

ルカ 15:8

先月私は結婚指輪をなくしました。私は来た道をたどり、引出しを全部確かめ、掃除機の中まで調べました。毎日捜し続けました。その指輪は高価なものではありませんでしたが、私にはとても大切なものです。捜しながら私は祈りました。

3週間後、ジーンズをたたんでいると小さな音がしました。裾に入っていたのは私の指輪でした！ 私は喜びのあまり叫び、大声で神様に感謝しました。私にとって大切なものを失い、そして今見つかったのです。

イエス様は、私たち一人一人がどれだけ大切かを理解させるために、この話をされたのです。誰かが神様に立ち返る時、天は喜びに満ち溢れます！ それほど私たちは神様にとって価値のある存在なのです。

もし私たちがキリストの心を持ちたいと願うなら、私たちも決して他の人達をあきらめではないのです。誠実に捜し、無条件に愛し、失われた人が見つかったら喜びましょう。

讃美歌第二編 183 九十九の羊は

祈り 聖なるお父様。私たちが道に迷うことがないように、あなたの近くにおいてください。そして迷える人々のために祈り愛し捜すことを決してあきらめないように助けてください。イエス様の御名によって。アーメン。



フロリダ州 デスティン／サラ・クラーク

2月6日(金)

## 父の家に迎え入れられるでしょうか

聖書朗読 ルカの福音書 15:11～24

あなたがたも生ける石として、靈の家に築き上げられなさい。そして、聖なる祭司として、イエス・キリストを通して、神に喜ばれる靈のいけにえをささげなさい。

1ペテロ 2:5

【私を育てた家】\*は数年前に流行った曲です。とくに過ぎ去ってしまった古き良き日々とのつながりを探して、子どもの頃の家へと戻るという歌です。歌のつなぎの部分にこうあります。♪家を出て前に進み、やれるだけやる 私はこの古い世界で自分が誰なのか忘れてしまった♪

この歌はルカ15章にある、イエス様が語られた放蕩息子の恵みに満ちた話を思い起させます。イエス様は、成長して家を出て、自分が誰かを忘れてしまった息子について語っています。彼はあらゆる意味で本当に失われていたのです。

しかし、彼はやがて自分の家と父を思い出します。彼は家に向かって歩き始めます。「もし私が神様のもとへ戻ろうとしたら、神様は受け入れてくださるでしょうか。」イエス様は、私たちを悩ませ続ける質問の答えを、私たちが見つけられるように助けてくださっているのです。イエス様は私たちを安心させてくださいます。神様は私たちを見つけ、走り寄って迎えてくださいます。神様は大喜びで私たちを抱きしめてくださいます。

神様はみすばらしい私たちに一番良い着物を着せ財宝を与え、恥の代わりに喜びを与えてくださいます。天の父に喜びをもって受け入れられたら、私たちの壊れた心は癒され始めます。父の家で私たちは歓迎されています。

讃美歌 239 さまよう人々

祈り 親愛なる天の神様、あなたの恵みで私を受け入れ、あなたの建てられる家、イエス様が礎の石となられる宮の一部にしてくださったことを感謝いたします。イエス様の御名によって。アーメン。

テキサス州 クリーバーン／クライドH・スリンプ

2月7日（土）

## 地上に信仰を見る

聖書朗読 ルカの福音書 18:1~8

あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。  
Iペテロ 5:7

以前、私は車に貼ってある面白いステッカーを見たことがあります。【イエスは再び戻ってこられる みんな忙しそうにしていましょう】これは冗談ですが、それでも考えさせられる問題を提起しています。イエス様が再臨されるとき、はたして地上に信仰が見られるでしょうか。

不正が社会のあらゆる所にあふれ、選挙でも私たちの深刻な問題が解決されないような時、信じ続けることは簡単ではありません。では、あなたは誰に助けを求めますか。何度も頼めば応じてくれるかもしれない、あなたの事を気にかけていない人ですか。それとも、あなたを深く気にかけ、あなたが何を求めれば良いか分かる前からすでにあなたのため働くおられる方でしょうか。

信じ続けましょう。祈り続けましょう。

たとえ話の中でイエス様は、私たちを無視し続ける裁判官（または政府、上司、先生、親）の心を変えるように努力しないとはおっしゃっていません。その代わりに、神様が沈黙しておられるように感じられる時でも、私たちを気にかけてくださる神様に全幅の信頼を置き、祈り続けるよう教えておられます。

イエス様が戻ってこられる時、ただ忙しそうにしているのではなく、誠実に祈り、信頼し、主により頼む者であります。

讃美歌 314 つかれしものは

祈り 親愛なる神様。そこいら中にある不正からお救いください。私たちのためだけでなく、この世で苦しむ全ての人のために祈ります。主イエス様、あなたの再臨を待ち望みます。早く来てくださいますように。イエス様の御名によって。  
アーメン。

カリフォルニア州 ユカイパ／ポール・トーマス

2月8日（日）

## もう一度のチャンス

聖書朗読 ルカの福音書 18:18~30

私が手紙を書いたのは、あなたがたがすべてのことにおいて従順であるかどうかをためすためであったのです。  
IIコリント 2:9

英語のことわざに“見た目に美しいケーキだからずっと飾っておきたいけど、そのままにしていたら食べることはできない”ということわざがあります。（つまり、あちらを立てればこちらがたたずの意）裕福な若い役人は永遠のいのちを望んでいましたが、財産を手放してまでは永遠のいのちを望んでいませんでした。彼は律法に従い、“正しい”ことを全部してきました。しかし、イエス様が彼の心をとらえているものを手放すよう求めた時、彼は去って行ったのです。

イエス様ははっきり言されました。『しもべは、ふたりの主人に仕えることはできません。…あなたがたは、神にも仕え、また富にも仕えるということはできません。』（ルカ16:13）その青年は、神に仕えるか富に仕えるかの分かれ道に立っていました。イエス様は従うように誘われましたが、彼は富を選びました。

マタイ25章でイエス様は裁きの場面を説明されています。永遠のいのちに迎え入れられた人たちは、自分たちの何でもない善行がこれほど深い意味を持っていたとは気付いていませんでした。一方、追い返された人々は自分たちの善行を並べ立て始めました。一方は心から従い、他方は賞賛を求めていたのです。

神様から私たちを引き離すものは何でも私たちの主人になります。イエス様が「わたしについて来なさい」と言われる時、それは単なる提案ではありません。それは従順さを試し、すべてを放棄することを求めているのです。よい知らせがあります。あなたがたとえ一度は去ったとしても、神様はもう一度チャンスを与えてくださいます。

讃美歌 58 かみよみまえに

祈り 主よ、あなたを賛美し称えます。すべてのことにおいて従順でありますように。イエス様の御名によって。アーメン。

ニューメキシコ州 ポータリス／ゲイネル・トーマス